

窓にイラスト「夏の1日」

磐田 豊田中生 楽しく描く



窓ガラスにイラストを描く豊田中学校美術部員＝磐田市の豊田東交流センターで

磐田市豊田中学校の一、二年生美術部員二十人が二十七日、学校近くの豊田東交流センターの窓ガラスに「夏の1日」をイメージしたイラスト画を描いた。

施設南側にある交流コーナーの窓ガラス十六枚を使い、太陽の下で泳ぐイルカや海辺のカニ、チョウを追い掛ける市のイメージキャラクター「シャッピー」、花火を見る擬人化した猫などを、アクリル絵の具で楽しく描いた。

同センターから「地域の人たちが集う場所を明るくしたい」との依頼を受け、生徒たちが図案を考えた。向かって右側から夏の1日

交流センターを明るく

が過ぎていく様子を表現するなど趣向を凝らした。

二年生部員の笹井麻都衣さん（ミ）は「（窓ガラスに絵を描くのは）初めての体験で楽しかった。筆の跡が残ったり、水が多いと絵の具がたれたりして大変だったが、想像していたよりうまくできた」と満足げだった。

大迫由美子センター長は「（中学生に）若いころから地域に関わってもらいたいと思い依頼した。絵を通じて、いろいろな世代の人たちがつながれば」と話していた。絵は秋ごろをめどに描き変えられる予定という。（高柳義久）